

タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成29年2月4日（土）午後6時～7時30分

場 所 赤土原分館（桜ヶ丘仲町会）

参加者 17人



主な意見等

参加者

3点質問させていただきます。1点目は空き家についてです。前回のタウンミーティングで、日の出住宅の空き家について対応していただくよう市へ依頼しましたが、その後、市より対応状況について連絡がありません。対応状況を教えてください。

続いて2点目、三芳スマートインターチェンジのフル化についてです。フル化となった場合、この地域にも大型車が通行することが想定されます。現状でも大井中学校前の通りは道幅が狭く危険な状態です。過去に死亡者も出ています。自転車屋付近は車両がガードレールにぶつかって車の部品がよく落ちていることがあります。このことから、フル化される前に安全対策をしていただくようお願いいたします。

続いて3点目、高齢者の運転免許証の自主返納についてです、私自身は80歳で自主返納をしましたが、自主返納に対しての特典は何もありませんでした。現在は三輪自転車で移動していますが、やはり不便です。自主返納を促進するためにも、特典を設けた方が良く考えます。

市長

ご質問の1点目の空き家についてですが、ご指摘のとおり前回のタウンミーティングでご依頼を受けた記録は残っております。今回のようにタウンミーティングで空き家についてのお話が出た場合は、その後に必ず担当の職員が現地調査を行い、対応しております。今回の物件に対してどのように対応をしたのかを改めて担当課に確認

をさせていただき、早急にご連絡をさせていただきます。大変申し訳ございませんでした。また、このタウンミーティングが終了した後、再度、該当の物件の所在地を教えてください。よろしくお願いいたします。

空き家について本市は、平成23年に他市よりも早く「ふじみ野市空き家等の適正管理に関する条例」を制定して取り組んでまいりました。国では平成26年に「空き家対策の推進に関する特別措置法」が施行され、これに伴い本市の条例も改正し、更にはプロジェクトチームを設置して取組を進めているところです。自治組織にもお伺いをして地域の状況を聴くなど調査をしておりますが、空き家と判断することが難しい状況もあります。また、個人の資産であることから市が介入することが難しい場合もあります。しかし、危険性が伴うケースについては早急に改善をさせていただきたいと考えております。先ほどご指摘いただいた物件については改めて現地調査を行い対応したいと思っております。本市においても空き家と疑われる物件は数多くあります。地域の皆様に地域の状況を伺いながら対応してまいりたいと思っております。

続いて2点目の三芳スマートインターチェンジフル化についてです。平成30年度を目途に整備される予定となっておりますが、用地買収は進んでいない状況です。しかし、いずれフル化になれば、ご指摘のとおり大井中学校前の通りの道幅は狭く、大型車のすれ違いは危険性が高いと認識をしております。現在、改善に向けて、三芳町と国土交通省と協議をしており、三芳町に接続するエリアの拡幅をする予定です。また、三芳町の負担で交差点改良も行う予定ですので段階的に整備を進めていきたいと考えています。時間帯により通行の規制をかけることは利害関係により難しい部分もありますが、最大限、危険性を排除していきたいと考えております。

続いて3点目、高齢者の運転免許証の自主返納についてですが、近年、高齢者の運転事故がマスコミで大変騒がれています。運転に自信のある方や、移動手段としてどうしても車を必要とする方などにより、自主返納が増えない状況があるかと思っております。そのような中、自主返納をされたことは頭が下がる思いです。今後、自主返納をする方を増やすためには、ご指摘のとおり、何らかの特典があった方が良く感じているところです。国民健康保険制度においても、保険者の皆で医療費の負担をしていますが、自身の努力により病院に全くかからない方にとっては、保険料だけ支払って何も恩恵

を受けていない状況と似ているかと思います。すぐに制度化できるものではありませんが、私自身はこのような方々への配慮があっても良いと考えているところです。

参加者 高齢者の自主返納をした場合の特典については、今後、機会があれば市長会などで、国や県等に要望をしてもらえますでしょうか。

市長 承知しました。市長会などの機会に要望をしていきたいと思いません。

参加者 町会への補助金制度についてですが、私は会計を担当している者です。運営費の補助額を増額してもらえないでしょうか。町会費は1世帯あたり1,000円をいただいておりますが、値上げはできない状況です。過去の決算資料を見ると繰越金が多くありましたが、平成22年頃から急激に減っている状況です。一方、活動自体は「ふれあい夏祭り」や「歩け歩けいも掘り大会」、「新春敬老食事会」、「市民フェスティバル」、「防災訓練」など、以前より活発に活動をしています。そうするとやはり事業費は増えるので補助金や会費だけでは賄えず、繰越金から支出しています。現在では繰越金が10万円にまで減っている状況です。自助努力として役員の手当てや、報奨金も無くしておりますがそれでも運営が厳しくなっていますので、補助金額を見直していただけないでしょうか。

市長 非常にお答えしにくい部分ではありますが、今ご意見をいただいた事項はどこの自治組織もかかえている問題です。そもそも加入率が低下していることが問題で、以前に比べて若い方が加入されないようです。理由としては順番に回ってくる役回りや、共働きにより休日は自分たちの時間に使いたいといったことが挙げられます。最近の新しい現象としては、足手まといになりたくない高齢者の方が脱退されてしまう状況もあるようです。その他、自治組織全体として抱えている課題としては、東側地域と西側地域で集会施設の取り扱いが違うということが挙げられます。東側の地域は町会ごとに集会施設を持っているので、使いたいときに使用できます。しかし、集会施設の建設にあたっては市が土地を提供していますが、建設費や維持管理費は町会の負担として補助金制度を活用したり、町会内

の積み立て、寄付金などで賄っています。西側地域では分館としての扱いであることから、いくつかの町会で共用しており、譲り合わなければならない状況です。その一方で、施設の建設費や維持管理費は全て市が負担しております。このように地域によって集会施設の取り扱いに違いがあることは、合併をしたまちなのでどちらの形が正しいというものではありません。しかし、今後は公平性の観点からも集会施設のあり方について検討していく必要があります。また、自治組織への加入率の低下や補助金制度を含め、自治組織の運営方法全体について見直しをしていく必要があると考えております。このことから、今年4月より正式に協議会を立ち上げる予定です。現在はその準備段階として、自治組織連合会と市で協議を進めているところです。これまでそれぞれの地域で慣れ親しんだ運営方法を変えることは簡単なことではないと認識しておりますので、この場で安易に補助金額についての発言はできませんが、自治組織を発展させていくために地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えております。

参加者 この桜ヶ丘仲町会は加入率が良い方だと思います。およそ70%の加入率だと思います。

市 長 30%ぐらいのところもあるので、かなり高い加入率です。また、加入率というよりも、1世帯でも多く町会に加入されることが望ましいと思います。

参加者 今後は高齢化により町会や自治会を脱退する可能性が高くなってくると思われます。

市 長 東側地域は町会の下に自治会がないのですが、西側地域は町会の下に自治会があるため、町会の会費と自治会の会費両方を納めなければならない状況もあり、このようなことも脱退される一つの要因として考えられます。これから益々、地域コミュニティは重要となります。万が一のときには近隣の方たちにお世話になるのだから、日頃から地域でコミュニケーションをとるといった感覚が必要であると思います。引き続き、転入される方には出来る限り入るよう促すなど加入率の増加に向けて皆様と一緒に取組を進めて行きたいと考えております。このような中、桜ヶ丘仲町会では活発な活動をし

いただいていることに感謝申し上げます。

参加者 市内循環ワゴンについてですが、以前の市内循環バスから昨年に制度が変わり、車両と運行コースが変更になったことにより、この地域にあった停留所がなくなってしまいました。これまで大井総合支所や大井総合福祉センターで会合がある際に利用をしていたのが、利用できなくなってしまい、歩行が不自由な高齢者の方も歩いて通っている状況です。もう一度市内循環ワゴンのコースを見直していただけないでしょうか。

市長 現在は実証運行としていますので、今のように様々なご意見を伺って見直しを図っていきたいと思います。以前の市内循環バスでは2台で運行をしており、年間におよそ3,000万円程度の費用がかかっていました。また、利用者が少ないとのご指摘を度々いただいております。このことから、バスからワゴン車に変更し台数やコースを増やし利便性を向上させました。また、これまでは高齢者の方は無料としていましたが、運行にはご利用にならない方々の税金も使われていることから、一部の条件に合致する方を除き、料金をいただくこととしました。今後も引き続き皆様のご意見を伺いながら、料金設定やコースの見直しを図っていきたいと考えております。

参加者 先ほどの空き家の件について、以前のタウンミーティングで市に対し対応していただくよう依頼をしたのに、市側から何も連絡がないのは不親切であると思います。空き家と判断することは難しい状況もあると理解できますが、この地域で生活する人が危険だと思っているのだから早急に対応していただきたいと思います。また、町会への補助金についても、補助金額の算定方法を一律にするのではなく、この地域には大きな商店街がないので寄付をいただくことも難しいです。地域の実情に応じて交付するべきではないでしょうか。

市長 空き家の件に関しましては、大変申し訳ございませんでした。通常タウンミーティングで空き家のお話をいただいた際には必ず担

当課が現地調査等を行うようにしていますので、今回の件についても対応はしていると思います。至急、状況を確認してご連絡差し上げます。また、改めて調査も行いたいと思います。過去には、空き家の持ち主に指導をしても中々改善されないケースに対して、職員がボランティアで植木の伐採等を行ったこともあります。今後も引き続き対応していきたいと思います。

続いて町会への補助金についてですが、街はずれの町会で、大型商業施設がない地域でも、寄付のお願いに出向き、寄付を受けている町会もあります。大型商業施設側から見れば、どこの地域の方々もお客様でありますので、協力をいただけるのではないかと思います。引き続き、補助金制度及び自治組織の運営方法を含めて検討をしていきたいと思います。

参加者 町会としての努力も、もう少ししてみたいと思います。

参加者 警察寮の隣が空き家になっており、警察寮の敷地から生えている木が、空き家の屋根にかかりアンテナが落ちていて大変危険です。夏には蜂の大群も来た状況です。どうか対応いただけないでしょうか。

市長 すぐに東入間警察署へ連絡をして指導させていただきます。

参加者 児童公園の遊具の安全対策は何かしているのでしょうか。

市長 通常も安全点検をしていますが、本市では安全点検週間を設けて全公共施設の安全点検を実施しています。公園の遊具に関しては点検時に簡単に直せるものはすぐに直しますが、直せないもので、危険性があるものは撤去するようにしています。先日も他市で遊具により事故が起きた状況もありますので、注意を払っております。今後は遊具を増やすだけでなく、高齢者の利用が多ければベンチを増やすことなども考えられます。また、従来から設置していたブランコも、安全領域が改定され、安全領域が拡大されているので撤去をせざるをえない場合もあります。今後も遊具の危険性を排除していきたいと思いますので、地域の皆様からも情報提供をいただければ

と思います。

参加者 集会施設にAEDの設置をしてもらえないでしょうか。この集会施設に集まる人は高齢者ばかりなので、万が一に備える必要があると思います。AEDが設置されている施設は近隣では大井総合支所や大井図書館しかなく、閉館後は使用ができないので、ご検討いただけますでしょうか。

市長 ご指摘のとおりであります。費用的な部分もございしますので検討をさせていただきます。また、集会施設のみならずコンビニエンスストアなどの店舗で設置をいただくことで効果も期待できますので、その点も含めて検討させていただきます。